

歴史ある寺社の多い川越。境内には、建物以外にも
狛犬や燈籠など多くの石造物が残されています。それ
らは昔の川越を語る貴重な資料であり、当時の人々の
願いや信仰を示すものでもあります。今回はそれらの
中から動物の形をしたものを少しご紹介します。



せんげんじんじゅ ふじみちょう てんぼう ねん
浅間神社（富士見町）天保4年



すがわら おおあざいまふく ぶんきゅう
菅原神社（大字今福）文久3年か

猿（さる）-山王神・富士山の神の使い-

猿の像は、日枝神社、浅間神社などで見られます。
写真は、いずれも富士山に似せて造られた富士塚山
頂にある祠の前に座っている様子です。神の使いら
しく神事に使われる道具（鈴・幣束）をそれぞれ持
っています。
左：着物や鈴、顔の表情にいたるまで細かく丁寧に
彫られています。口元が上がった表情は、訪れた人
をにこやかに迎えてくれているように見えます。

狛犬（こまいぬ）-寺社の守護獣-



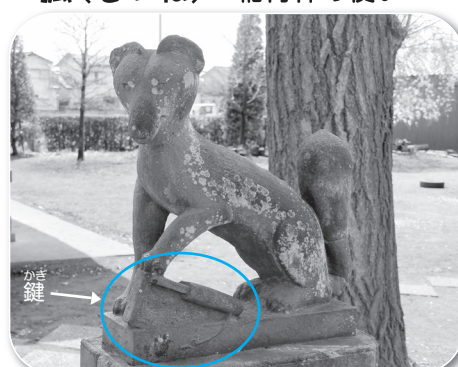
こうさいじ ごんげらどう きたまち かえい
広済寺・金毘羅堂（喜多町）嘉永7年



ひかわ さんどう いしどうろう みやしたまち
氷川神社参道・石燈籠（宮下町1丁目）天保3年

犬と言っても古代インドの獅子
（ライオン）像に起源があると
され、日本では一対（正式には
向かって右が獅子、左が狛犬で
す。）で寺社を守っています。
上：来る者をにらみつけるよう
な顔には、子供を守る親の強さ
が表れています。
下：四角い枠には収まらない動
きのある浮き彫りです。親に向
かって走り寄り子供の様子に見え
ます。

狐（きつね）-稲荷神の使い-



すなくぼ けいぶうがんねん
砂久保稲荷神社（大字砂久保）慶応元年



月見稲荷神社（熊野神社 岸町2丁目）明治31年
上：ふっくらとした体に可愛らしい顔立ちで、足も
とには五穀豊穡（豊かな実り）や子宝を表すとされ
る鍵があります。
下：今にも飛び跳ねてきそうな狐の浮き彫りです。
真ん中に子狐がいるため、3匹は親子のようです。

亀（かめ）-霊亀-

川越藩主（お殿様）のお墓の
前にあります。昔は甲羅の上
に大きな石碑が建ってしま
いましたが、今はなくなってしま
いました。魔を寄せ付けないよ
うな怖い顔をしてお墓を守っ
ているように見えます。



まつだいらいやまのかみけりょうじょう きふ
松平大和守家廟所・亀踏碑
（喜多院 小仙波町1丁目）江戸時代後期
※現在、保存整備工事中のため、近くで見ることができません。

※大切な文化財です。お寺や神社ではマナーを守って静かに見学しましょう。

☆みどころ

今にも動き出しそうな動物の姿・形は見事です。
いずれも江戸や明治時代の職人さんの手でひとつの
石から彫り出されたものです。当時の職人さんの技
のすごさを感じてみてください。

教育相談Q&A

◆集中力が持続せず、家庭で学習する習慣が定着しない小学生

【Q】小学三年生の息子をもつ親です。

息子は学校から帰ってくると、すぐに友達のところへ遊びに行ってしまう。帰宅後、夕食前か夕食後に、学校の宿題をするのですが集中力が続かず、なかなか終わりません。集中してやるように言っていると、怒り出し、さらに時間がかかってしまいます。

三年生になると、覚える漢字の数が増えたり、算数の学習が難しくなったりするので、宿題だけでなく、家庭学習についてもやってほしいところですが、学習に集中できず、宿題を終わらせることで精一杯です。

このままだと、学校の授業についていけなくなるのではないかと心配です。どうしたらよいでしょうか。

【A】小学校中学年の一般的な傾向として、行動欲が旺盛な時期と言えます。様々なところに気持ちは向き、落ち着かず気が散りやすいこともありますが、知識欲も旺盛で、物事に打ち込みだすと夢中になるところもあります。そこで、以下のような関わり方をしてみてはいかがでしょうか。

①できていないことだけを指摘せず、できていることは褒め、お子さんのがんばりを認めましょう。

人は、相手のできていない部分に注目しがち

ですが、いつもできている部分にはあまり注目しません。日頃から子どものよさや成長を認め、子どもとのコミュニケーションを積極的にとることはとても大切です。学校の宿題を自ら行うことは当たり前のことと思うかもしれませんが、その行為が見られたことをまずは褒めましょう。できていることは認め、できないことができるようになることが成長であると本人に伝え、意欲を向上させましょう。親が日頃の小さながんばりを認めることで、「自分のことを見てくれている、理解してくれている」という気持ちが生まれ、親の思いを受け入れた素直な行為につながっていくでしょう。

②家庭で学習する時間帯や内容を決め、習慣化につなげましょう。

学校では時間割でスケジュールが決まっていますが、何をいつ学習するか決まっています。同じように、家庭内でも学習する時間帯や内容を決め、家庭での学習について習慣化を図りましょう。具体的には、就寝時刻から逆算して、食事や入浴の時刻等も考慮し、各家庭に合う学習できる時間帯や内容について親子で話し合います。

家庭学習については、話し合っている内容を決定したとしても、最初は子どもだけで自主的にやることは困難です。はじめのうちは「一緒に勉強しようね。」と誘いかけ、子どものそばについて見届けることが大事です。学習は楽しいね、という雰囲気や気分を作り出して、一緒に遊びを楽しむようなつもりで学習に臨ませることが家庭学習の定着につながります。

このように、家庭内での言葉かけや過ごし方を見直すことで、お子さんはより主体的に学習するようになるでしょう。

6月～10月に子どもが参加できる各種講座

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
工作教室	7月26日 ①10時～11時頃 ②15時～16時頃 申し込み＝7月1日、9時30分から来館または電話		中央図書館 TEL 222-0559 FAX 224-7822
夏休み子ども点字教室	8月3日 10時～12時 申し込み＝7月5日、9時30分から来館または電話	○	
ぬいぐるみおとまり会とおはなし会	8月4日 15時～ぬいぐるみお預かり、5日 10時～10時40分頃 おはなし会 申し込み＝7月7日、9時30分から来館または電話		
ちょっぴりこわいおはなし会	8月18日 15時～		
秋のスペシャルおはなし会	10月22日 ①11時～11時30分頃 ②14時30分～15時頃		
どうようおはなし会	毎週土曜日 15時～		西図書館 TEL 237-5660 FAX 237-5661
夏休みおはなし会	7月26日・8月30日 10時～		
ちょっとこわいおはなし会	8月2日 16時～		
こわいおはなし会	8月9日 16時～		
こわいこわいおはなし会	8月16日 16時～		
すごーくこわいおはなし会	8月23日 16時～		川越駅東口図書館 TEL 228-7712 FAX 228-7713
にちょうおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～		
夏休み工作教室	7月28日・8月25日 ①10時～11時 ②14時～15時 申し込み＝7月7日、9時30分から来館または電話(定員各回8人)		
かすかにこわいおはなし会	8月22日 16時～		
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		
夏休み工作教室	7月28日 ①10時～ ②14時～ 申し込み＝7月14日、9時30分から来館、電話またはファクス(定員各回10人)		高階図書館 TEL 238-7550 FAX 238-7551
こわいおはなし会	8月12日 ①10時30分～ ②15時～		
ぬいぐるみおとまり会とおはなし会	8月17日 15時～ 申し込み＝8月2日、9時30分から来館または電話(定員10人)		